

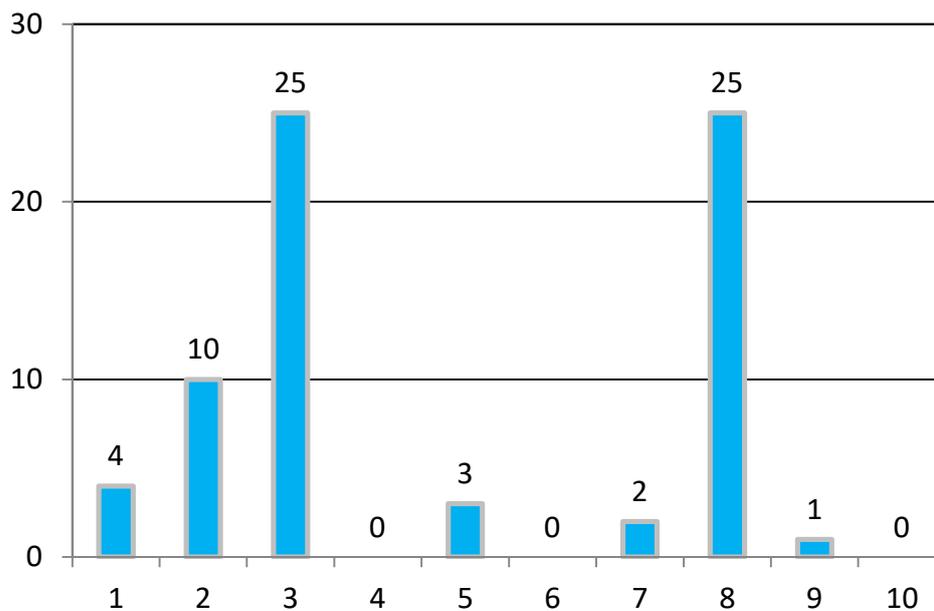
## 令和元年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/グラフ

### [1] 回答者数

MC1	63
MC2	0
DC1	3
DC2	2
DC3	1
DC4以上	0
PD	0
その他/教員など	0
未回答	1
計	70

### [2] あなたの所属を教えてください。

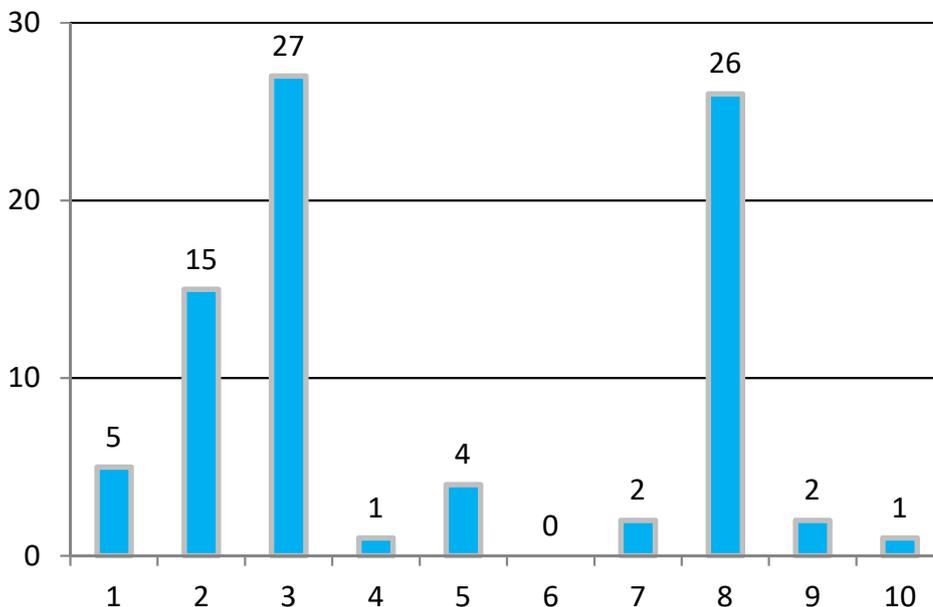
1.理学 2.生命科学 3.農学 4.工学 5.環境科学 6.情報科学 7.総合化学 8.水産科学 9.医学 10.その他



## 令和元年度 Advanced COSA (1) イマキク(リアルタイム投票)アンケート/グラフ

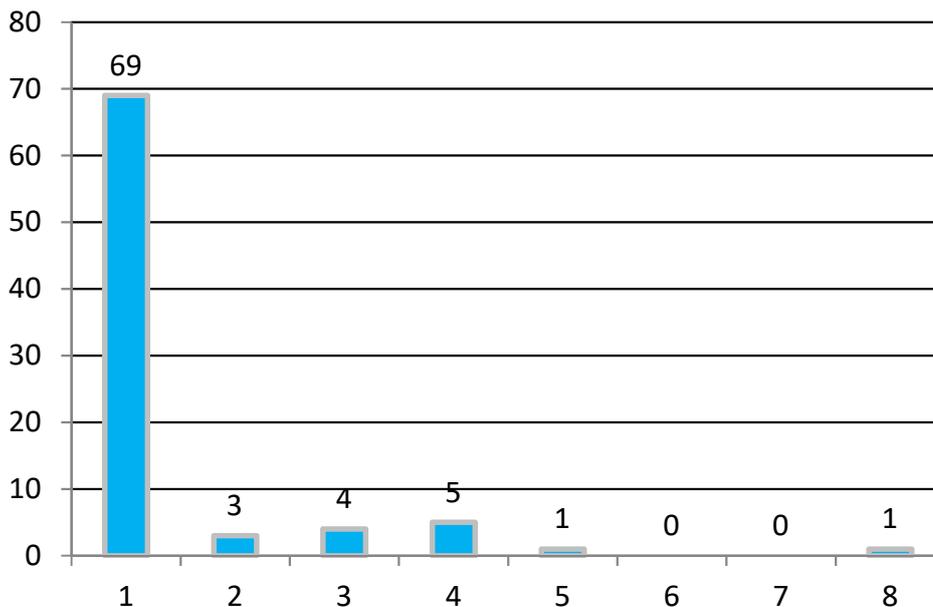
[1] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学 2.生命科学 3.農学/国際食資源学 4.工学/医理工学 5.環境科学  
6.情報科学 7.総合化学 8.水産科学 9.医学 10.その他



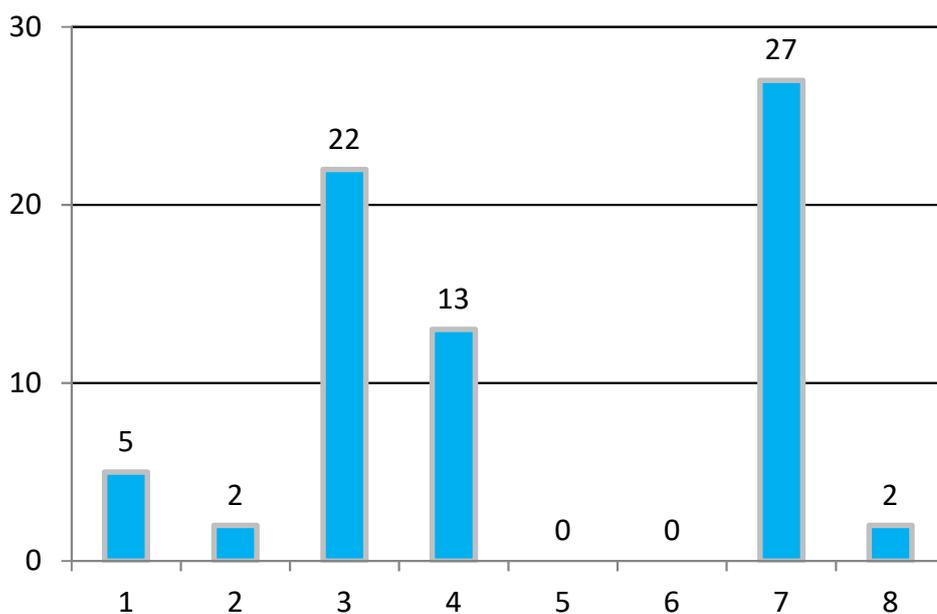
[2] あなたの学年・属性を教えてください。

- 1.MC1 2.MC2 3.DC1 4.DC2 5.DC3 6.DC4以上 7.PD 8.その他/教員など



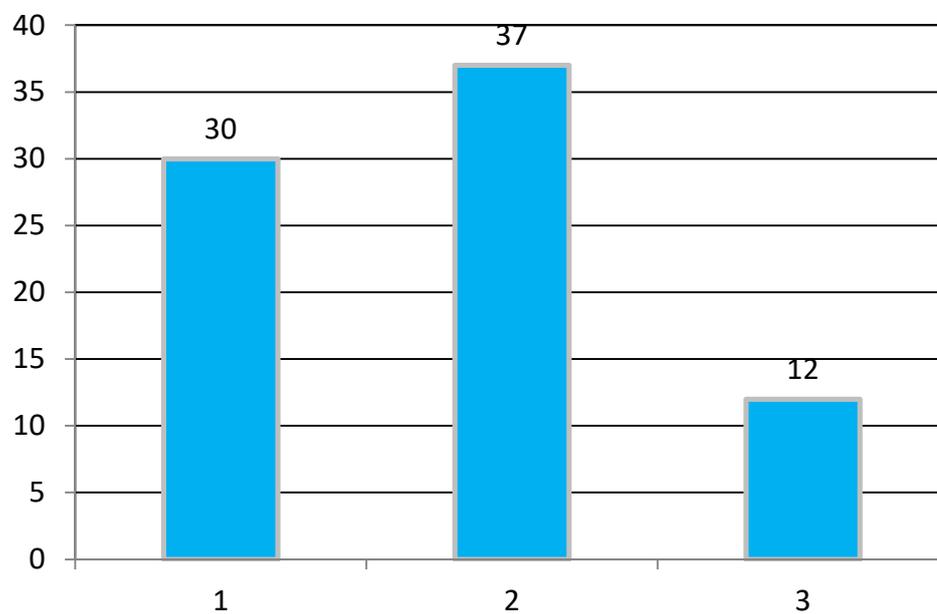
[3] あなたの出身学部を教えてください

1.理学部 2.工学部 3.農学部 4.薬学部 5.獣医学部 6.医・歯学部 7.水産学部 8.その他



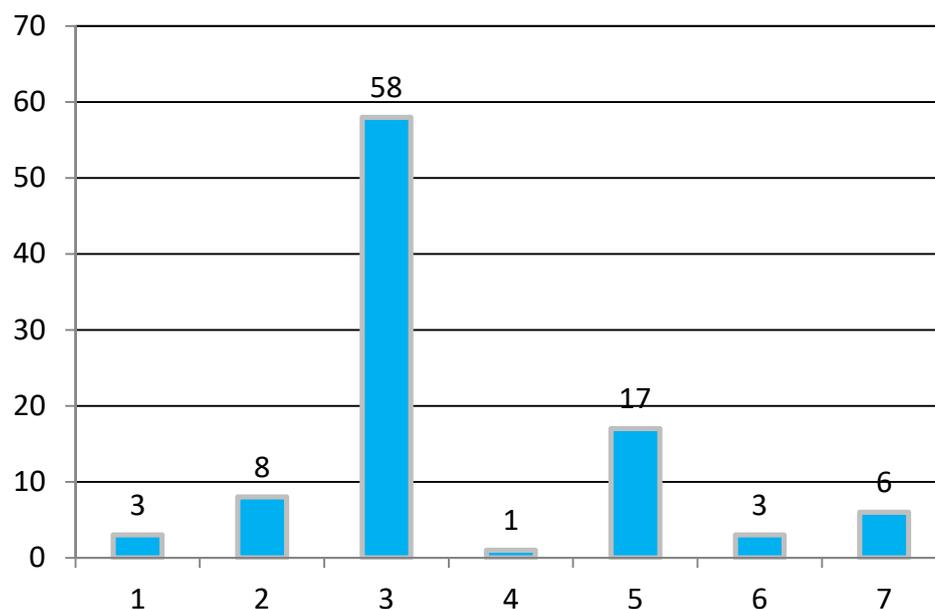
[4] 人材育成本部主催のセミナー等受講は初めてですか？

1.初めて 2.2回目 3.3回以上



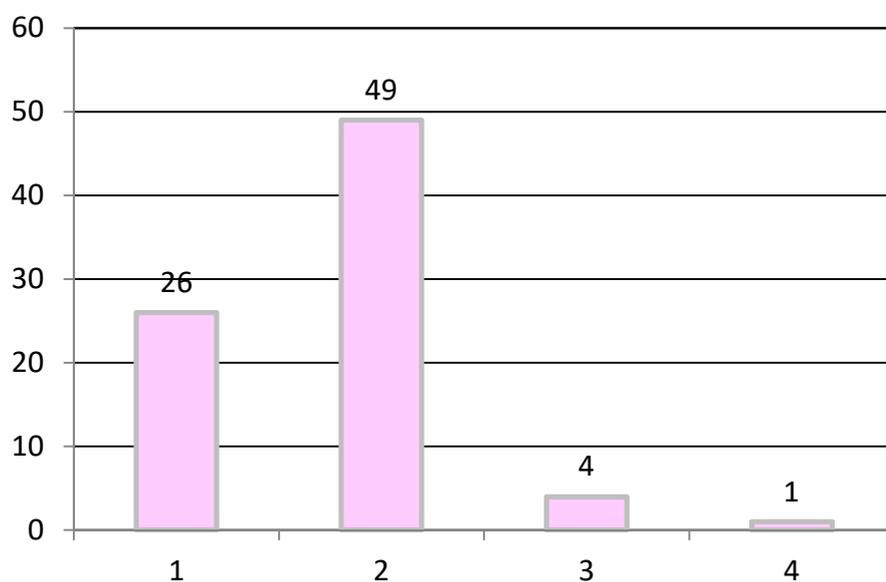
[5] どのような分野への就職を希望しますか？

- 1.大学教員 2.国立研究所/試験所 3.企業研究開発部門 4.中学・高校教員 5.その他  
6.今は考えていない 7.その他



[6] どのような分野の企業に就職したいですか？

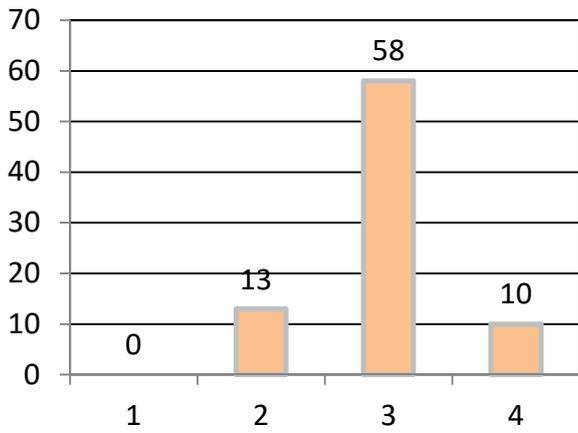
- 1.専門にマッチした企業 2.どこでも特に拘らない 3.専門とは異分野の企業 4.企業就職は考えていない



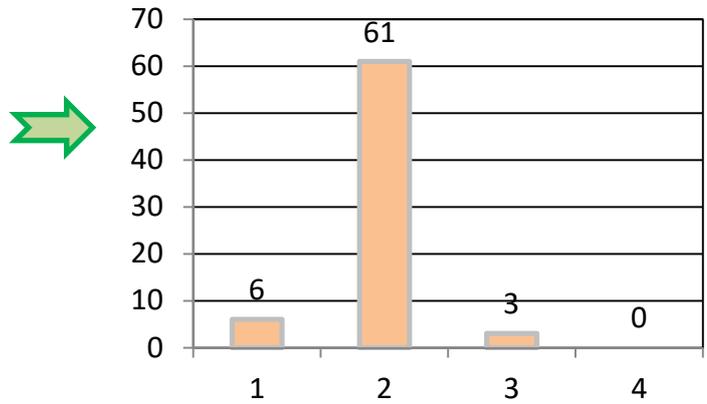
[7]企業の研究開発についてあなたはどの程度理解していますか？

- 1.具体的によく理解している 2.ある程度理解している 3.あまりよく理解していない 4.全く理解していない

<受講前>

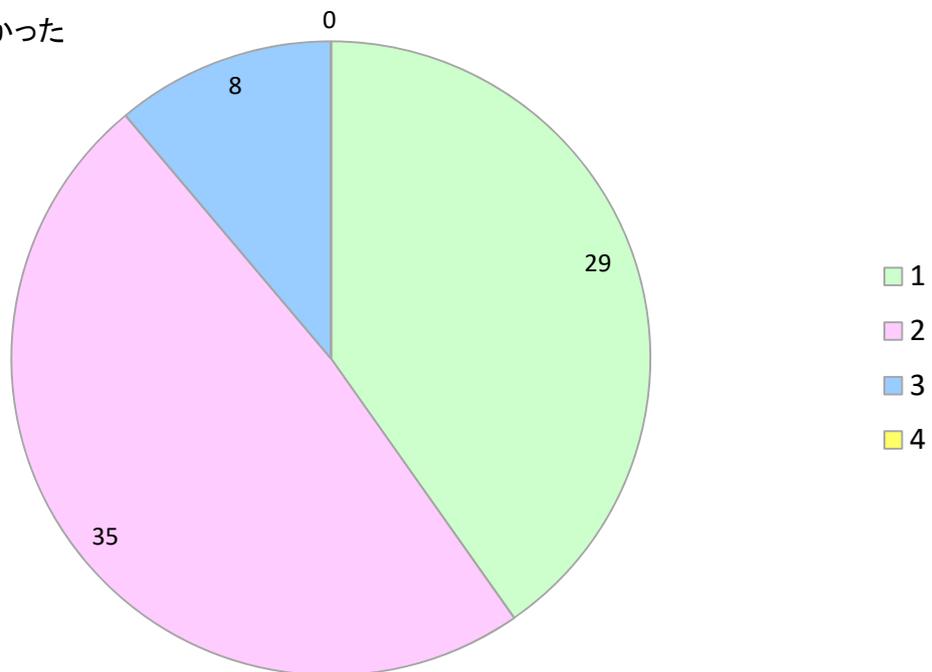


<受講後>



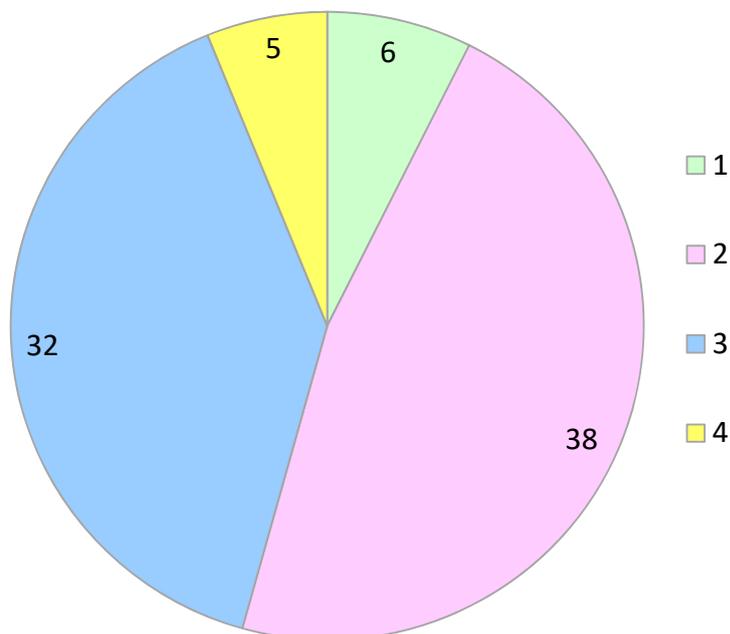
[8] 企業での研究開発業務についてある程度以上理解したあなたはそこに魅力を感じましたか？

- 1.大変興味深くおもしろい 2.ある程度は興味を感じた 3.あまり興味がわかなかった  
4.全く興味がわかなかった



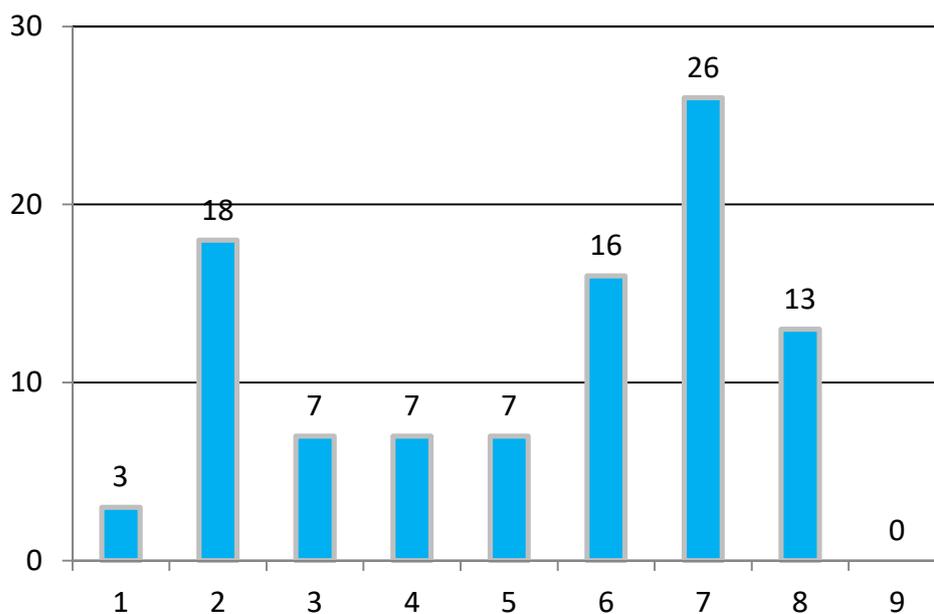
**[9] 科学技術系のあなたが企業に就職した場合、どのような業務を担当したいですか？**

- 1.あくまで自分の専門分野
- 2.科学技術分野なら何でも
- 3.事業やスタッフでもOK
- 4.科学技術系以外の業務を



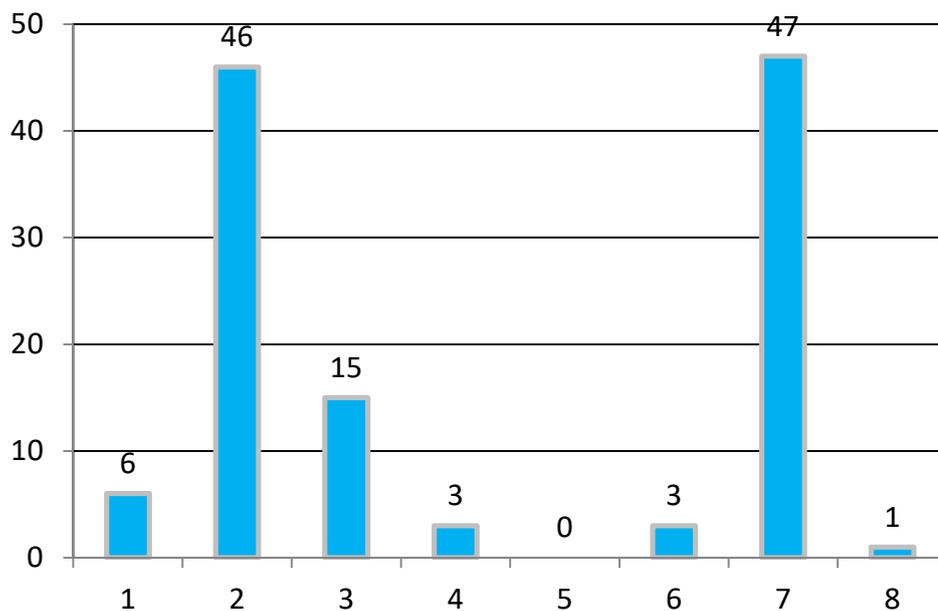
**[10] A-COSA開催はどのようにして知りましたか？**

- 1.教員からの情報
- 2.友人/知人情報
- 3.S-cubicのホームページ
- 4.S-cubicからのメール
- 5.掲示板ポスター/ちらし
- 6.シラバス
- 7.大学院入学式ガイダンス
- 8.他の講義での紹介
- 9.その他



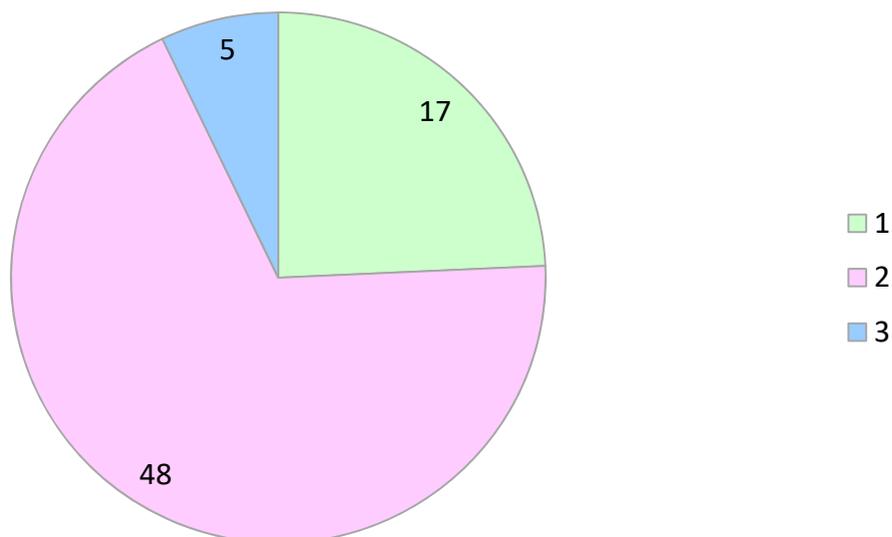
### [11] A-COSAに参加の理由は？

- 1.興味ある企業が参加していた 2.企業の研究開発を知りたい 3.企業の人事制度や勤務実態を知りたい  
4.講師の先生と意見交換したい 5.教員の勧め 6.友人/知人の勧め 7.単位が欲しい 8.その他



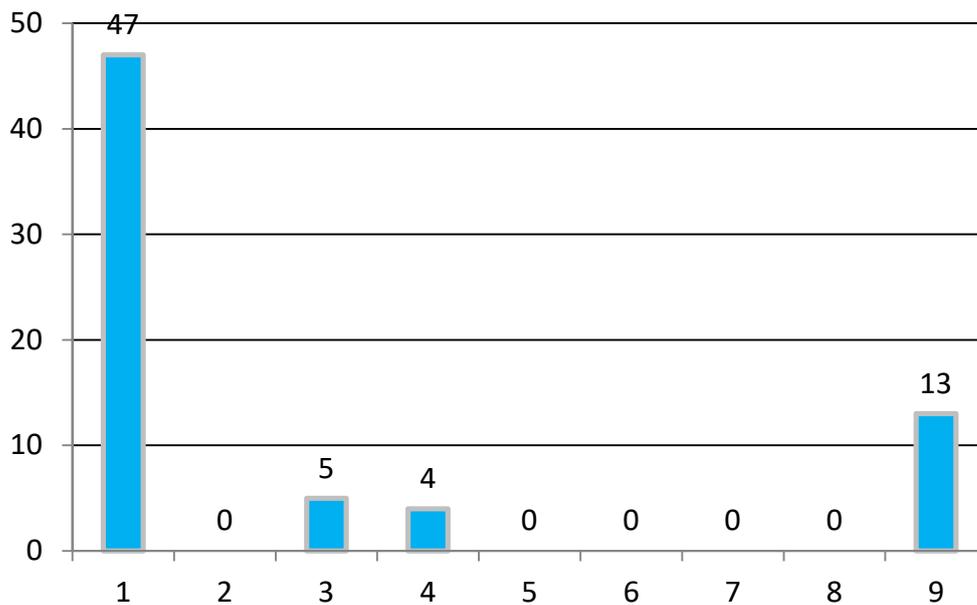
### [12] A-COSAにまた参加したい？

- 1.是非参加したいと思う 2.テーマ次第で参加する 3.もう参加しないと思う



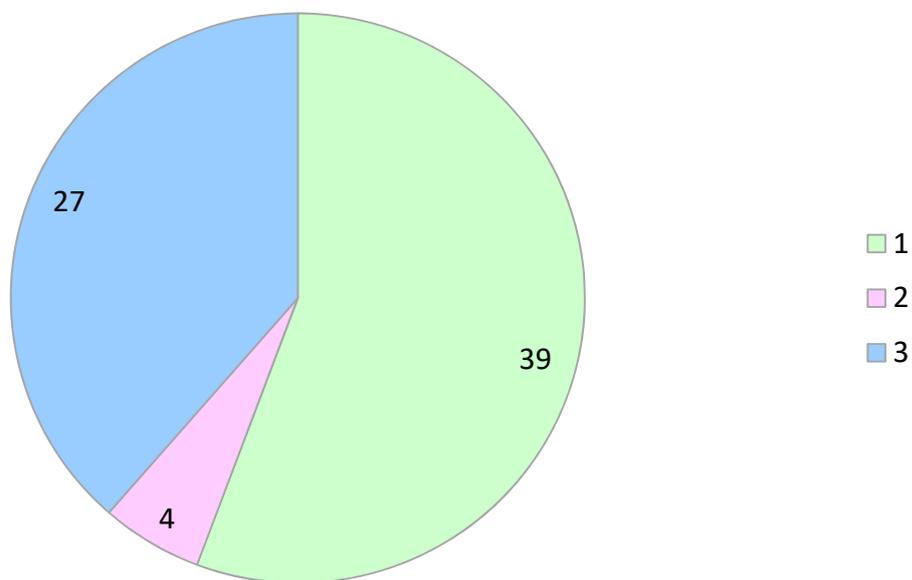
[13] あなたの研究の科学技術分野を教えてください

- 1.ライフサイエンス 2.情報通信 3.環境 4.ナノ・材料 5.エネルギー 6.製造技術 7.社会基盤  
8.フロンティア 9.その他



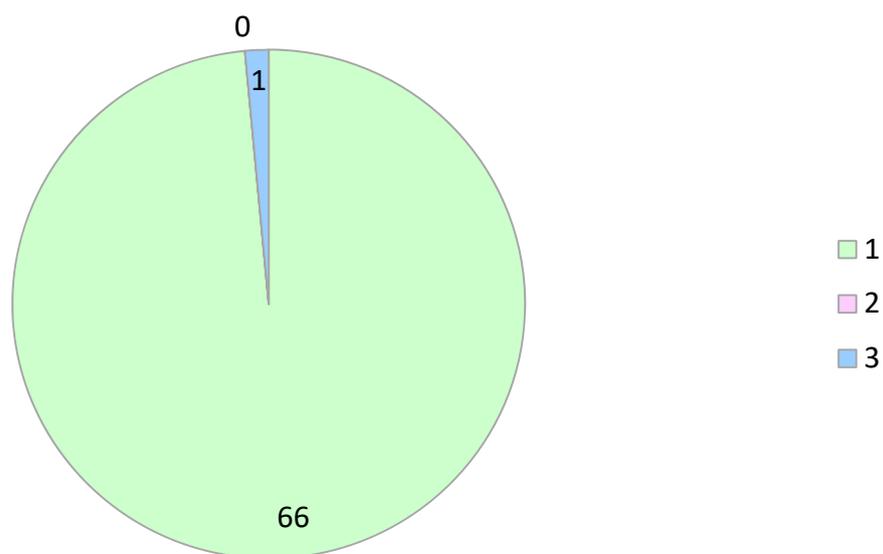
[14]あなたは研究の専門分野以外に社会で活躍できる(自己アピールができる)能力はあると思います

- 1.はい 2.いいえ 3.わからない



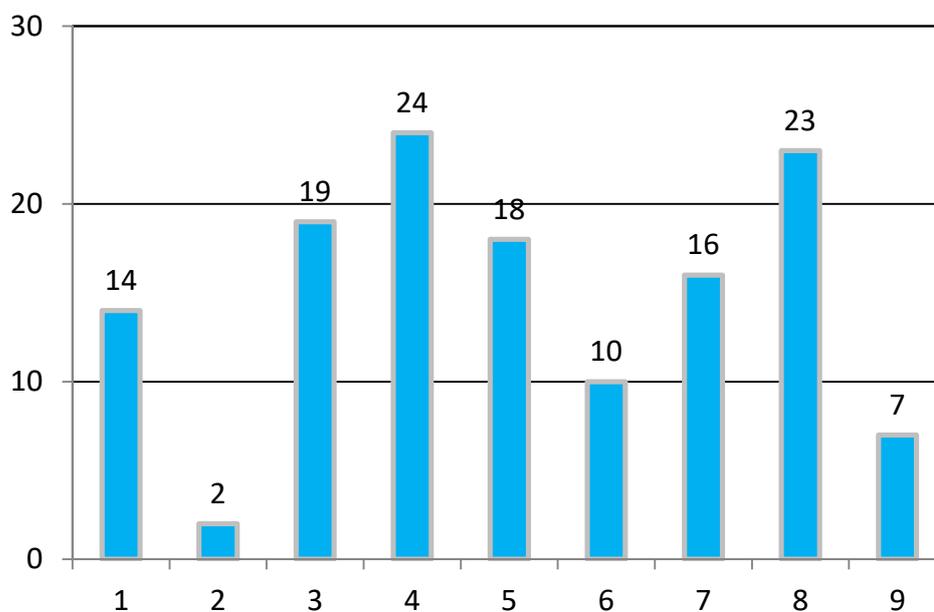
[15]あなたは今後、社会で活躍できる能力を伸ばしたいと思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



[16]研究以外の業界／業務では、どのような分野の講師のお話を聞きたいですか？

1.知的財産 2.マスコミ 3.商社関係 4.公的機関 5.医療関係 6.環境関係 7.コンサル 8.ベンチャー 9.その他



## 令和元年度 Advanced COSA (1) 記述式アンケート/自由記入欄

No.	記述内容
[1]講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。	
1	研究との向き合い方や、会社での研究と学校での研究との違いが良く分かり、為になりました。
2	若手の研究者の就活経験。
3	企業によって特徴が色々あって学びになった。
4	研究や仕事に対する想いやモチベーションが様々で面白かった。
5	学生時代とは別の分野で活躍されている姿を見て、就活の際に、自分の分野を活かさなくてもいい方向もあるのだと思った。
6	2日目の講演で私たちの先輩の方々がどのような経緯で今に至るのかそのリアルな体験談が印象に残りました。
7	ベンチャーと大手の違いが分かった気がした。
8	同じ研究開発でもいろいろな部門を渡り歩くような企業と、そうでない企業があること。今の研究内容は就職後の配属にはあまり反映されることがなく、常に学ぶ姿勢が大切になるということ。
9	いわゆる大企業とベンチャーの指針や雰囲気の違いなど
10	博士で就職することに対して不安があったが、実際に活躍されている博士の方や、研究所で仕事をされている所長さんのお話を伺うことで、自分の足りていない点を振り返ったりこれからの研究や就職に対するモチベーションの向上にも繋がった。退学せずに頑張りたい。
11	自分の専門以外の研究するのが一般的なのだと知れてよかった。
12	博士課程に行くような人は、「博士に行く」という決断を積極的に、自分の強い意志を持って進んだ人が多いのかと思っていたが、東さんのお話を聞いて、今の自分と同じようなことを考えていた時期があると知り、今後の参考にしようと思った。
13	自身のキャリアを形成してくうえで、何らかのビジョンをもちながら視野を広く持ち、それを更新していくことが重要であることを改めて認識した。
14	講演した人が社会を、世界をどのようにしていきたいかということを行っていること。
15	企業での研究開発業務について

16	「縁を大切に」それが運になる
17	2日目に講演された博士卒の方々の個性が際立っていた中で、自分が何をしたいのかという部分は3人に共通しているところで、特に企業から求められている事であるというのが印象的でした。
18	やったことだけが残る
19	人事等で動いた部署等がどこになっても自分ができる最大限発揮する力が求められるのかなと感じた。
20	みなさん論理的思考を身につけてほしいとおっしゃっていたのでこれから意識していこうと思いました。ありがとうございました。
21	現在の自分の研究に対する向き合い方を見つめ直すことができた。興味の有無でなく、目的を持って大学院での生活を送りたいと思う。
22	OB・OGの方の身近な経験を聞いたこと
23	研究者の1日の生活
24	学生だった方たち（先輩方）のお話を聞くとはっきりとした目的があり、自分の軸にのっって会社を選ばれているように感じたため、すごく生き生きとしていて楽しそうだと思いました。自分もそのように働けるように早めに頑張りたいと感じました。
25	先輩の各ポイントでの考え方を聞きできたことが、参考になりました。
26	北大のOB／OGの方の話を聞いて良かった。
27	どのように企業に行くことを決めたのかが参考になった。
28	将来どの様な世界を作りたいか、という考えを持っている人と一緒に仕事をしたい、という話をされていたのが、自分にとっては一番予想外で驚きました。
29	知的好奇心だけでは企業に向かない
30	研究者になった方で、みなさん、職場でわからないことがあれば周りに聞くということを行われているということだったので、やはりそのようなコミュニケーションは大事なんだと感じました。私は人に聞いたりといったことは苦手なので直していかないといけないと感じました。
31	博士まで行った方の話を聞いたこと。わりと年齢の近い、経歴の似た社会人の話を聞いたこと。
32	人とのつながりを大切にしている人が多いと感じた

33	一口に理系研究職といっても様々な取り組み方や考え方があるということ。個人的には2日目の方が印象的で、特にダイセル玉置さんの話が印象的でした。
34	若手研究者の方はとても正直に自分のキャリアを話していただいて好感をもてた。
35	高橋さんの「漢方が好きで楽しい」というお話や、玉置さんの「定時で帰ることがモチベーション」というお話を聞いて仕事に対する考え方が様々でいいのだと学ぶことができました。
36	研究所長や若手研究員のそれぞれのキャリア形成について参考になる話が聞けてよかった。
37	研究職で入社しても、さまざまな部署へ移動させられることがあると知り、どの様な状況でも力を発揮できるような基礎力をつけておくことが大事だと思った。
38	実際に企業に所属している人の配属の変遷
39	多くの講師の方の話で、企業にはいってから自分の専門分野と関係性の薄い分野の仕事を行っていることが割とはやい段階であるということがわかり、とても参考になった。
40	多くの方が進学や就職などにおいて苦悩をかかえてきたことが改めてよくわかった。
41	研究で大きなストレスや不安にかられるような役職の人でも、日々実験から心を離してリフレッシュする時間をとっていることがすごく参考になった。
42	総合化学院の博士課程を修了されたというだけでとてもストイックなイメージがあったが、玉置さんはとてもマイペースな方だったのが意外だった。自分も効率よく仕事を進め、定時退勤を貫きたいと思った。
43	いろいろなことに対応できる力をつけるための博士課程
44	kracie: 漢方薬の生産・製薬の研究
45	企業で働く人の1日が知れた。
46	大学と企業の違いをしっかりと理解できた。研究職の実情を把握することが出来た。
47	ダイセルの玉置さんの話で、学部生・修士時代に研究に熱意をもてなかったところから博士にとりあえず進み（教職をとるため）研究にまじめに取り組んでいくようになっていった話は、とても印象に残りました。
48	講師の方の大学から企業へ進んだ、それぞれの動機や経緯が聞けたこと。
49	総合化学院から伊藤先輩 今働いている会社の研究内容「便を研究する」です。

50	今までは基礎研究ばかり意識していたが、企業での研究もおもしろそうだと感じた。特に市場やニーズに合わせて異分野とコラボするなど、基礎研究だけではわからないおもしろさを感じた。
51	企業によって色々違っていた。
52	何とかなるということ
53	メタジェンの伊藤さんが自分のやっていることに対してすごく楽しそうに話していた姿が印象に残った。また、「ラクする」ことを考えるという発想が印象的だった。また、この考え方がこれから求められるのかなと考えた。
54	年代の近い人たちに学生時代、入社時期の話聞いたこと
55	1日目は理系としての仕事の内容、2日目は博士と就職について参考になった。
56	生の声を聞いたこと。
57	研究職での働き方、考え方
58	質疑応答の時間が長かった。企業での研究について理解を以前よりも深められた。
59	実際に働く人、特に入社5年目以内ほどの若い人から話を聞いてよかった
60	企業と大学での研究の違いを改めて認識する機会になりました。単なる利潤追求ではなく「世界をより良くしたい」という野望を持つことが、大切だというお話が印象的でした。
61	企業の研究職で働く人の話を聞いて、企業での研究と大学での研究の違いを知ることができた。
62	後半の北大卒業生の話は、年齢が比較的近いのもあり、楽しく聞けました。
63	その企業、メーカーの話というよりは、その人個人の学部時代から就職までのストーリーが聞いたのが良かったと思う。

[2] 今後、Advanced COSA(1)で講演してほしい講師の分野(企業/業種)を教えてください。

1	化粧品メーカー
2	国立研究開発法人

3	メーカーの話が多かったので、IT系の話なんかも聞きたいと思いました。
4	製薬会社の研究以外
5	1日目の講演でクラシエ製薬さんが講演していただきましたが、扱っている薬品が、主に漢方であったので、そうじゃないバイオ薬品等を扱っている製薬会社についても聞きたかったです。
6	広告、理系修士→文系就職
7	今回、研究開発のみだったのので、知財・製造・生産などの分野の方のお話も聞いてみたいです。
8	製薬、化粧品
9	化学メーカー（大きなシェアを誇る会社、住友化学、三菱化学など）
10	農業機械、土木職、機械系全般、食品や資材メーカー（工学部、工学院系の方があまりいないようでしたので伺いたいです）また、技術営業の方の話も伺いたいです。
11	農研機構や道総研のような独立行政法人の研究所
12	電機
13	転職したことのある人。セイコー、エプソン（数学と書かれていたので喜んでインターンに応募したら書類で落ちたから）
14	化粧品メーカー
15	メディア、NHKなど・・・
16	公的研究機関
17	植物工場
18	農業系のメーカー
19	食品、化粧品

20	商社・小売業
21	研究職に限定しなくてもよいのではないのでしょうか？
22	同じようなので満足
23	自分で起業してしまった方の話を聞いてみたいです（ベンチャー？）
24	化粧品メーカー
25	食品メーカー、エンタメ業界
26	コンサルやマスコミ、金融など、理系とイメージが遠い業種において理系としての能力を発揮し活躍している方の話を聞きたい。研究職でなくても。
27	商社等、文系に代表される様な仕事
28	富士通、マテリアルアンフォマティクス
29	（学生時代研究を行っていた方で）営業や企画を行っている方の話も聞いてみたいと思いました。
30	今回と同じような分野
31	具体的な分野ではないが、理系の修士or博士を取得していわゆる文系職で働いている方の話を聞きたい。
32	酒類業界
33	微生物を扱う企業 醸造系の会社
34	東さんがインターンシップに行ったような「研究所」という名のつく企業でのキャリアについて知りたいと思いました。
35	マスコミ業界、金融全般
36	ベンチャー企業に特化した内容

37	香料
38	製薬・化学系
39	医療系
40	食品系
41	製造業（重工、製鐵など）
42	自分の未知分野に触れたいので、特に分野指定しないでおきます。
43	化粧品
44	研究職
45	インフラ系
46	三井造船や今治造船といった企業（造船業界）または輸送機器メーカー
47	食品・化粧品メーカー
48	国会議員
49	一次産業に関するベンチャー（農林水産業）
50	マスコミ
51	食品、化学
52	分野ではないですが、転職や会社を移動した人の話を聞いたら良かったと思う。
53	食品、美容、剤薬

54	さらに年齢の近い講師の本音を聞きたい
55	食品業界、飲料メーカー
56	今回もあったマルハニチロのような水産分野
57	生産分野の工場などの人
58	今回もありましたが、食品分野。誰にとっても身近だと思うので。
59	民間企業だけでなく、国立の研究所で働く人や、大学の助教授の人の講演を聞きたい。
60	食品メーカー、飲料メーカー
61	商社、化粧品メーカー、JT

**[3]Advanced COSA(1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。**

1	休憩が少ないです…。修士出身の方の話ももっと聞いてみたいと思いました。
2	上から目線の意見になってしまい申し訳ないですが、もう少し質疑応答がスムーズにいくようにファシリテーションがしっかりしていると良かったと思います。
3	暑くて集中できなかった。
4	修士卒で企業に就職した若手研究者の話が聞きたいです。
5	外が暑い中、快適な環境で講演を受けることができたので、内容に集中でき、非常によかったです。
6	様々なお話が聞けて楽しかった。1コマが長くて大変だった。
7	やや長い時間、選択した企業を聴講するシステムにして欲しい…。

8	2日ともちょこっと暑かった（とくに昼過ぎくらいまで）です。異分野の話は少し難しい点もありましたが、1時間区切りなので適度に休めて有難かったです。2日目の質疑からすぐ講演にうつるのは少し疲れました。
9	博士課程を卒業して、企業に就職した方々の話が聞けて良かった。
10	自身のこれからのキャリアを考えるうえで、大変有意義な機会となった。
11	一つの企業で働き、成功された方の講演が多いので、変なところに配属されたからやめたみたいな転職されたキャリアをお持ちの方の話も聞けると、個人的には嬉しいです。
12	研究職以外の方のセミナーも聞きたい
13	数少ない博士卒の社会人の方々の話を聴けてとても貴重な体験となりました。
14	OGを呼んでいただいたのはありがたかったです。
15	修士卒の方の話も聞きたい。
16	2日目のあとにも、2日目に発表した方と話してみたい
17	企業の人の話の最後に大事なことを吉原先生が話してくれたので、感銘を受けた。
18	年が離れている方（入社した時私たちはまだ生まれてもないくらい）の話はあまりよくわからないので、北大のOB／OGの方の話だけで良い。
19	もっと就活のときのことを重点的に聞きたかった。
20	化学系の企業だけでなく、物理系など他の分野も聞きたかった。また、過去に聞きたい企業の発表が終わっている場合は再度呼ぶことはしないのでしょうか？
21	非常に参考になりました。

22	初日に講演をされた方は、2日目に講演された方と比べて講演時間を長く取っていたが、短くして企業数を増やして欲しい。
23	2日間で5人の方の話を聞くのは、有意義ではあったものの集中力・体力的に厳しかった。午前or午後×5日間などにもしてもらえた方が質問等も積極的にできると思った。
24	現実的には難しいのですが、修士→企業という人の話も聞いてみたかったなと思いました。
25	1日目の話、会社説明の部分をもう少し短くしてほしいなと感じました。長く感じ、頭に残らなかったです。いろいろな企業の話幅広く聞いたのは良かったです。
26	休憩時間が長めにほしいです。腰痛くなりました。
27	質疑応答の時間が多くとられていて、アクティブな交流ができてよかった
28	研究職を希望しているので、その先輩方の話を聞いて良かった。
29	もっと就活のときのことを重点的に聞きたかった。大きな企業の方がどのような人材を欲しているかが知りたかった。
30	全体的に時間が長く、しんどく感じることもあったが、総合的にはとてもためになった。質問の時間も長くてよかった。
31	質問票を集めるスタイルは良かった。
32	質問時間が十分にあり、心行くまで質問できた。
33	2日間で全くキャラクターの違う5人のお話を伺えてとても充実した内容だった。また、函館から質問できるのもよかった。
34	堀場さんの難解な技術関連の話題は、一般向けではなかったかなと。
35	1日に3人の話を聞くのは正直付かれる。最大で2人までだと思う。社会人の話を聞ける経験はなかなかないと思うので、貴重な体験と感じた。今まで漠然としていた社会人の姿がよりはっきりしたものになりました。※函館の教室、クーラーが利きすぎて寒かった。寒くて集中できないときがありました。

36	北大以外の方や、北大OB／OGの方々が直接来て話をさせていただいて、質問にも答えてもらえたのでとても有意義なセミナーだと感じました。
37	スライドとともに講師の方の姿もうつしてほしかったです。
38	様々なお話が聞けて楽しかった。1コマが長くて大変だった。先輩の話聞いて、自分のキャリアの構築に対する、役に立ちました。これから自分自身のこと考えておきます。
39	函館からだと講師の姿が見えない状態でスライドと音声のみであるが講師の姿も見える状態にしてほしい（キャリアマネジメントセミナーのように）
40	とても良かった
41	質問者の声が聞き取りづらいです。
42	キャリアマネの話よりもこういった経験談の話をたくさん聞きたかったので、もっとたくさん開催して欲しい。修士卒業の人からも話をききたかった。
43	スタート時間を早くして、終了時間を早くしてほしい。アンラーニングについて抽象的な内容でわかりにくかった。「違和感は自分に起因すると考える」→この後は何をする？→考えるだけ？
44	函館にも講師の方に来て欲しい
45	できれば、函館に来ていただき、講演や懇親会を通して直接様々な話を聞きたいと感じた。
46	研究職を中心にセミナーを開いていただいととても勉強になった。
47	一講演の時間を減らして、様々な企業に講演して欲しい。一日くらい函館でやってほしい。